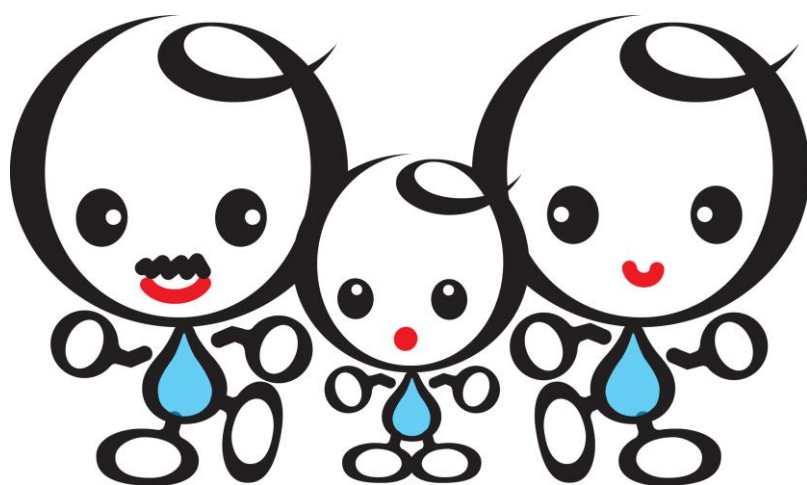


第2次おいらせ町総合計画  
後期基本計画策定に係る  
住民懇談会結果報告書



令和5年3月

おいらせ町

# 目 次

1. 調査の概要 .....	1
(1) 調査目的 .....	1
(2) 開催概要 .....	1
(3) 出席者（町側） .....	1
2. 実施結果 .....	2
(1) 中央公民館 会場.....	2
(2) みなくる館 会場.....	3
(3) 北公民館 会場.....	5
(4) 各会場の様子.....	8
3. 最後に .....	8

# 1. 調査の概要

## (1) 調査目的

第2次おいらせ町総合計画 後期基本計画（令和6年度から5か年）の策定にあたり、前期基本計画に掲げられた施策の進捗状況などを報告するとともに、町民からのさまざまな意見や提案を把握し、今後の事業を進める基礎資料とするため、住民懇談会を開催しました。

なお、住民懇談会では、町総合計画のほか、おいらせ町役場新庁舎の建設に係る意見交換も実施しました。※この報告書では、町総合計画に係る部分の報告のみとなります。

## (2) 開催概要

日 程	時 間	場 所	参加人数
2月15日（水）	18時00分～19時40分	中央公民館 講堂	35人
2月16日（木）	18時00分～20時00分	みなくる館 みなくるホール	45人
2月17日（金）	18時00分～19時35分	北公民館 講堂	26人

## (3) 出席者（町側）

所 属	出席者名
三 役	町 長 成田 隆
	副町長 小向 仁生
	教育長 松林 義一
総 務 課	課 長 成田 光寿
	課長補佐 堤 雅之
	主 幹 柏崎 雄一
政策推進課	課 長 柏崎 勝徳
	課長補佐 袴田 笑美子
	主任主査 馬場 祐二

## 2. 実施結果

### (1) 中央公民館 会場

日 時：令和5年2月15日（水）18時00分～19時40分

場 所：中央公民館 講堂

参加者：35名

意見交換要旨	
発言者	発言内容
参加者 A	町内会の加入率向上への提案である。町営住宅への入居条件に、町内会加入を義務付けたらどうか。町内に新築を建てた時にもらえる転入者への町定住助成金の条件には、町内会加入が義務付けられていたので、町営住宅も同じような条件すると町内会加入率も上昇するのではないか。
政策推進課	ご指摘のとおり、町定住助成金の条件には、町内会加入を義務付けている。ただし、町営住宅の場合、公営住宅法という法律があり、できるかどうかお答えできない。このようなご意見があったことは、町営住宅を管理している地域整備課に提案する。
参加者 B	町内には、300世帯以上もある町内会もあれば、50世帯未満の町内会もある。世帯数が少ない町内会は、行事等をやるにしてもとても難しい状態であるので、町の方で、ある程度の世帯数が確保できるような町内会の仕組みを考えてほしい。
政策推進課	町内会の合併・編成については、これまでも何度か協議されているが、町内会の歴史等もあり、簡単にはいかないようだ。今後もまちづくり防災課では、町内会と協議していくものと思う。
参加者 C	おいらせ町の人口が25,000人に対して2,000人に町民アンケートを実施しているが、この人数は適正なのか。
政策推進課	統計学上、おいらせ町の人口規模でのアンケートを実施する場合、約400人程度の回答が必要である。今回は、町民25,000人の中から2,000人を無作為に抽出してアンケートを行い、回答者数が961人であったため、信頼できる数値である。
参加者 C	アンケートの集計方法にインターネットを活用したらどうか。集計の手間が省けると思う。
政策推進課	今回の町民アンケートを取る際に、インターネットを活用した手法を検討したが、スマートフォンを持っていない高齢者やインターネット環境のない方等も対象となることから、紙によるアンケートとした。今後も引き続き検討していきたい。
参加者 D	町の施策をみると、子育て支援にとっても力を入れており、とても良いことだと思う。これからも続けてほしい。また、子どもたちが将来、この地域で仕事ができる雇用の場、産業の場等が創出できるような後期計画を策定してほしい。
政策推進課	ご提案として参考にしたい。

## (2) みなくる館 会場

日 時：令和5年2月16日（木）18時00分～20時00分

場 所：みなくる館 みなくるホール

参加者：45名

意見交換要旨	
発言者	発言内容
参加者 E	町民アンケートや団体ヒアリングの結果についての詳細を知りたい。
政策推進課	町民アンケートや団体ヒアリングの結果は、町ホームページや広報紙等で公表する予定である。またパブリックコメントも実施するので、その際にご意見をいただきたい。
参加者 F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針の「豊かな心と伝統・文化が薫るまち」について、新型コロナが落ち着いてきたので、文化と祭りに関して保存と継承を強く要望したい。また、山車小屋のことで、山車を作る人たちも高齢化になり、広いスペースがないと立派な山車が作れない。町として何か支援を考えてほしい。</li> <li>・スポーツレクリエーションのことで、文科省では小中学生の部活動のあり方について問題となっている。スポーツ少年団やスポーツ協会との懇談会等を継続していくことで、小中学生の部活動への支援・協働につながる。例えば、グラウンドゴルフ等の生涯スポーツのように、誰でもどこでも簡単にできるようなスポーツから小中学生に推進していくべきではないかと思う。</li> </ul>
政策推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が以前に比べて落ち着いてきており、町の祭りやイベントの一部が復活してきている。今後も感染状況等を確認しながら、祭りやイベントを再開していきたい。併せて、山車小屋の件は商工観光課に伝える。</li> <li>・団体ヒアリングを実施した結果、感染症の影響で祭り等が中止となったため、後継者や伝承が困難になってきているという意見が多かった。町も支援の検討が必要だと考えている。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会関連の行事・イベントは復活しているので、引き続き実施していきたい。</li> <li>・中学校の部活動については、文科省より学校の活動時間が厳しく制限されている。そのため、町内の校長、スポーツ少年団、スポーツ協会等との懇談会を実施し、地域の皆さんと協力していきたい。</li> </ul>
参加者 B	防災対策について、奥入瀬川の砂は取り除いてもらえたのか。最近は気候変動のせいで、毎年大雨で川の水がいつもすれすれまで来ている。大雨の時は消防団が常に出動している。川沿いには病院もあるが、いつ移転するか目途が立っていない。この件は青森県庁にも相談しているが、町も町民を守るために、すぐに奥入瀬川の防災対策をお願いしたい。
町長	奥入瀬川の浚 <sup>しゅんせつ</sup> 渫工事については、青森県の管理のため、県に要望し、今年は川の上流である十和田市の方を実施した。また、町内でも雑木をある程度処理した。今後も奥入瀬川を管理している県に要望する。

副町長	奥入瀬川の浚渫工事は、町長が吉田県議と共に青森県に要望して実現した。県も予算に限りがあるため、一気にはできないが、一昨年は川口・堀切川・サーモンパーク・秋堂を実施し、昨年は奥入瀬川の上流である十和田市を実施した。よって、上流だけではなく、下流である町内の工事も実施している。
参加者 B	町長は町民を守らないといけないと思う。川沿いに住んでいる町民を守るためにも、青森県にも強くお願いしてほしい。
町長	お願いとして承る。
参加者 G	基本方針 1 の「町民と議会・行政がともに考え、行動するまち」の総合評価が 47.2% であり、その原因の一つに町内会加入率が低いとのことであった。実際に自分の町内会でも、班長をやるなら町内会に入りたくない等を理由に町内会に加入しない方もいる。そのため、町内会の役員の平均年齢も 70 歳を超えており、町からもいろいろな委員や役員のお願いが来ているが、引き受けてくれる人を探すのも大変である。町では子育て支援を進めているが、併せて高齢化に対する対策も進めてほしい。また、基本方針 1 の成果指標の達成度も 22.2% と低いが、このような状況を町はどのような心構えで考えているのかを聞きたい。
政策推進課	町内会を含め町のさまざまな団体で、地域の高齢化や人口減少の影響を受けていると感じている。町内会の支援は引き続き継続し、解決方法についても、まちづくり防災課を含め、これから町内会の皆さんと一緒に考えていきたい。
参加者 H	農業基盤の整備について、稲作農家からの願いがある。今困っているのは、東下谷地地区の水田の揚水場のことで、以前は電気代だけで百万円を超え、メンテナンスだけでも 1 千万円を超えるため、採算はとれないがみんなで管理して守ってきた。しかし、火災が起き、揚水場が動かなくなってしまうからは何もできない状態である。土地改良区の管理下から外さないとならないが、3~4 億円かかる現状の回復が条件と言われた。町からは揚水場の持ち主である土地改良区に相談するよう言われたが、私たちにそんなお金は払えない。これを解決するために何とか行政に動いてほしい。
町長	担当課である農林水産課に伝え、改めて相談を受けたい。

### (3) 北公民館 会場

日 時：令和 5 年 2 月 17 日（金）18 時 00 分～19 時 35 分

場 所：北公民館 講堂

参加者：26 名

意見交換要旨	
発言者	発言内容
参加者 I	民間企業の調査で、おいらせ町が住みやすい町ランキングの上位に来ており、うれしく思う。しかし、町内会加入率が低いというデータが出ている。町の北部地区と南部地区では加入率が違うが、町ではどのような分析をしているのか。
政策推進課	詳細なデータをこの場に持ち合わせていないが、町内会加入率は南部地区の方が比較的高いと思われる。
参加者 I	町内会でも実情や状況を把握しているので、町には今後こういう話し合いの場等の調整をお願いしたい。
政策推進課	まちづくり防災課に提案する。
参加者 J	新庁舎の建設は、町にとって大切なことである。町の一部の関係者で決めるのではなく、住民投票等で広く町民の意見を反映させるべきではないか。
総務課	今は総合計画についての意見交換の場であるため、次の案件で質問をお願いしたい。
参加者 K	基本方針に「魅力ある産業を創出するまち」とあるが、実際に企業誘致の実績はあるのか。また雇用創出はどのようなことを実施しているのか。
政策推進課	特に北部地区には、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等をはじめとした企業が町に進出してきており、他にも進出を希望する企業の情報もある。町に企業が進出することが町の雇用創出につながると考えている。
町長	雇用の場については、町に働く場所は増えていると感じるが、町の企業からは人手不足との声が聞こえている。企業誘致も、北部地区の発展や人口増加に合わせて、新しい企業も増えてきている。これからも北部地区の皆さんと協力して住みやすいまちづくりを目指したい。
参加者 L	役場では転入者に対して、どのように町内会加入を促進しているのか。町も町内会に任せるのではなく、一緒に促進すべきではないのか。
総務課	役場で転入者に対しては、町民課窓口にて、町内会加入を勧めるチラシの配布や町内会長の連絡先をお知らせしている。
参加者 M	新しく転入してきた方からは、町や町内会から町内会加入の案内やお願いがなかったと聞いている。町内会は、地域の活性化にとっても重要だと思うので、具体的な施策が必要に思える。
総務課	町民課とまちづくり防災課に情報提供する。

参加者 N	北部の人口が増えてきている。通学路もない、歩道も少ない、区画線が消えている、センターラインが消えている道路が多い。道路計画はどうか。
総務課	地域整備課の方で、町内会からの要望等を踏まえた生活関連道路整備計画を策定している。センターライン（区画線）が消えている道路については、後日具体的な場所をまちづくり防災課に連絡してほしい。
参加者 N	宅地分譲等の影響で、狭い道路が増えている。消防車両がやっと通れる狭い道路もあり、不便を感じる。
総務課	町が整備する道路であれば、ある程度の広さを考慮しているが、業者等による私道の整備については、行政で再度整備することは難しい。しかし、極端に狭い道路があるようであれば、町内会長を通じて相談してほしい。
参加者 O	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は、北部地区にも転入者が町内会に加入することが条件の移住助成金があった。今は移住助成金がないため、町内会に加入しない移住者が増えている。</li> <li>・一番町内会に苦情が多いのは、道路の整備に関することである。例えば、道路に穴が空き、町に整備してほしい要望を出しても、私道のために整備できないという回答である。私道についても、長期的な整備計画、実施計画を検討すべきではないのか。</li> </ul>
総務課	ご要望として地域整備課に伝える。
参加者 M	前期基本計画の総合評価は 67.2%とあるか、町の想定と比べてどうだったか。
政策推進課	計画を策定する以上、町では 100%の評価を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定より低い評価となってしまった。後期基本計画では、その点を考慮した計画を策定したい。
参加者 P	今年はきれいに除雪をしてもらってありがたいが、主要道を除雪するために歩道側に雪を寄せているため、雪が硬くてなってしまう、歩道の除雪が大変である。歩道に雪を寄せないでいただきたい。
総務課	降雪量、雪質、除雪する時間帯により、どうしてもご迷惑をおかけしてしまう状況もある。地域整備課にも伝えるが、ご理解いただきたい。
参加者 P	民間企業のアンケートで、おいらせ町の住みこちランキングで 1 位になった。交通の便が良いこと等が理由にあげられていた。他のランキングも 1 位ではないが、上位であった。詳しくはその企業のホームページ等を確認してほしい。
総務課	町でも情報を把握しているので、今後も参考にしたい。
参加者 P	豊原 2 丁目地区の北側の T 字路の交差点が狭い。特に大型トラックが曲がりにくいようで混雑している。第 2 みちのく有料道路に入りやすいように道路の拡張・整備等を提案したい。
総務課	県道のため、難しいと思うが、地域整備課に提案する。



参加者 P	住吉町にある十字路の交差点の信号の切り替えが早いため、渋滞・混雑が起きている。渋滞や混雑が起きないように、住吉町から三沢市に続く道路の拡張や整備をお願いしたい。
総務課	住吉町にある十字路の交差点は、町道と（三沢）市道が交わっていること、既に周りに住宅が立ち並んでいることから、整備等が難しいと思われる。信号の切り替えのタイミングが早いことについては、青森県公安委員会が担当することなので、まちづくり防災課を通じて相談してほしい。

#### (4) 各会場の様子



◀ 2月15日(水)  
中央公民館会場

2月16日(木) ▶  
みなくる館会場



◀ 2月17日(金)  
北公民館会場

### 3. 最後に

このたびは、住民懇談会にご参加、ご協力をいただきありがとうございました。皆さまから頂戴したご意見等は、今後の総合計画（後期基本計画）の策定の際の検討課題とさせていただきます。また、総合計画に直接反映させることができないご意見等は、担当課にご提案させていただきます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。